



長田・西蓮寺での土芳忌法要
(平成26年1月18日)

服部土芳

(出典:『芭蕉堂歌仙図』)

明暦3年(1657)~享保15年(1730)

ぶんと通信

第92号

2014年2月15日発行
(公財)伊賀市文化都市協会

はっとりどほう
服部土芳

服部土芳は、明暦三年(一六五七)、伊賀上野の木津孫次良保何の子ど八人の末っ子として生まれた。三歳にして父を亡くし、母方の祖父の家に預けられ、養育を受けた。家庭的には苦勞したと思われるが、祖母や母あるいは兄の愛情や支えによって、より良い生涯を送った。

幼くして母方の祖父の世話で、服部平左衛門の養子になった。その後、藤堂藩士に就任し、これが芭蕉と知り合う機会になり、俳句の手ほどきを受けることもあった。それから二十年を経て、再びの出会い、東海道の水口の宿駅であった。このことを土芳は、「この年は播磨にありて、帰る頃ははやこの里を出でられ侍る。なを跡をしたひ、水口越に京へ登るに、横田川にて思はず行き逢ひ、水口の駅に一夜、昔を語りし夜の事なり」と書いてある。芭蕉も、この因縁を「命二つの中に生きたる桜かな」と句を作り、詠嘆している。貞享五年、土芳は三十二歳にして仕官を辞した。その後は、芭蕉から贈られた句「糞虫の音を聞きにこよ草の庵」から取って、「糞虫庵」と名付けた庵に入った。以降、隠棲を続け、生涯独身の生活を送りながら俳諧の道に専念した。日頃の世話は、夫を早く亡くした老母の仕事であった。

土芳の業績は、伊賀蕉門の第一人者であり、芭蕉の遺徳を偲びながら、みずから俳句を作り、伊賀蕉門の仲間と共に力を尽くした業績は、まさに貴重な宝といえる。芭蕉研究家・富山泰氏は著書の中で「土芳は徹底して芭蕉随順、蕉風顕彰に情熱を燃やして新奇を求めなかった。且つ、土芳の特殊な才能は、断片的な芭蕉の示教の言説を近代的な論理に構成して見せることであった」と書いている。それが、成果となって元禄十五年に『しろさうし』『あかさうし』『わすれ水』と題する俳文論書を完成させた。

土芳は、七十歳になり、漸を追って病がちなになる体力、気力共に衰えてきたのだろうか、俳句の制作も減った。亡くなる前年十月、俳諧の席で詠んだ「あはれなる味あたまる火桶哉」という句が、土芳の「言いおさめ」である。芭蕉蕉門の中心であり、糞虫庵の庵主土芳は、多くの貴重な業績を残して、享保十五年(一七三〇)正月十八日、七十四歳で永眠した。今年は、二百八十五回忌。

【取材協力】公益財団法人芭蕉翁顕彰会
【資料】「芭蕉の高弟服部土芳と糞虫庵」
(広報事業委員 西岡時彦)

ぶんと通信

BUNTO チケット情報

第14回能楽鑑賞会
半部(はしとみ)
3/2日 好評発売中

開場13:00 開演13:30
一般1,000円(全席自由)
高校生以下 500円
ふるさと会館いが

新世紀コンサート2013
Fleur(奥出谷子・桃谷江美)
ピアノデュオリサイタル
3/9日 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般1,000円(全席自由)
青山ホール

和太鼓フェスティバル
打伊響宴 2014 YAYOI
3/16日 好評発売中

開場13:30 開演14:00
一般 3,000円
(全席指定)(当日500円増)
伊賀市文化会館

LADY BLUES NIGHT in IGA
ブルース伊賀の乱
レディース編
3/29日 好評発売中

開場17:30 開演18:00
一般 500円
(全席自由)
あやま文化センター

第34回
新人演奏会inいが
4/6日 3/15発売

開場12:30 開演13:00
一般 1,000円
(全席自由)
※学生は、当日学生証提示で半額払い戻し
伊賀市文化会館

第9回
さんさん名曲コンサート
5/11日 3/22発売

開場13:30 開演14:00
一般 500円
(全席自由)
あやま文化センター

N響トップメンバーによる
プラスアンサンプル



5/18日 3/15発売

開場14:30 開演15:00
一般 2,000円
高校生以下 1,000円
(全席指定)
青山ホール

アニソンBIG3
スーパーライブ2014
in 伊賀



5/25日 好評発売中

開場14:30 開演15:00
1階 3,500円
2階 3,000円
(全席指定)
伊賀市文化会館

わらび座ミュージカル
ブッダ



6/15日 3/29発売

開場14:00 開演14:30
一般 4,000円
(全席指定)
伊賀市文化会館

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館
青山ホール

TEL.0595(24)7015
TEL.0595(52)1109

ふるさと会館いが
あやま文化センター

TEL.0595(45)9125
TEL.0595(43)1125

先取りインタビュー

フルール

Fleur (奥出容子・桃谷江美)

3月9日(日)青山ホールで、「Fleurピアノデュオリサイタル〜ピアノで綴る音の世界〜」が開催されます。公演を前に、フルールのお二人、奥出容子さんと桃谷江美さんにお話を伺いました。

Q. フルールを結成したのはいつごろですか？

A. 2009年の「みえ音楽コンクール」に出ようと二人でコンビを組んだのがフルールのはじまりです。地元で活動したかったこともあり、2011年に伊賀で、第一回目の単独コンサートをさせていただきました。デュオ名は、その時につけたものです。

Q. お二人とも伊賀の人ですね。

A. はい、中学、大学の同級生なんです。今は職場が一緒です。職場で再会した時はビックリでした。それまでソロで活動していたので、デュオでも演奏ができて本当に嬉しいです。コンサートも、やっぱり一人より二人のほうが心強かったりします。

Q. 今回のリサイタルの見どころはどこでしょう？

A. 第1部では、いろんな時代の作曲家の作品を演奏します。作曲家の出身国もそれぞれ違いますから、時代や国による作風の違いなどを、私たち二人の演奏で出していければと思っています。デュオならではの魅力も感じていただければ嬉しいです。単純に音の数が増えるだけではないんですよ。音楽全体に深みが増すというか…。ソロでは味わえない華やかさやダイナミックさが、デュオの魅力のひとつです。

第2部では、ナレーションや影絵と一緒にステージをつくっていきます。今回演奏する「動物の謝肉祭」は、物語付きになっていますし、普段の演奏会とは違い、視覚的にも楽しめるので、より曲のイメージなども広がるといいます。お子さまにも親しみやすい内容になっているんですよ。

Q. 連弾だとお互いの手が重なったりはしないのですか？



左 桃谷さん 右 奥出さん

A. ありますよ。バーバーの曲は、かなり重なる部分が多いですね。密かに二人で格闘しています。そこも見所です(笑)。でも、それぐらい密着して、お互いの息づかいを感じながら演奏するからこそその一体感も、デュオの醍醐味ですね。音楽にも厚みが出てきます。

Q. 今回のリサイタルにける抱負などお聞かせください。

A. 今年は結成5周年になります。この節目の年に青山ホールで演奏できるなんて、夢のようです。ピアノデュオの魅力をみなさんに感じていただけるような、素敵なコンサートにしたいですね。伊賀では、デュオの演奏会は数が少ないので、この機会に、ぜひ足を運んでいただきたいです。

たいへん楽しくインタビューをさせていただきました。「動」の奥出容子さんと「静」の桃谷江美さんという感じのお二人のデュオ。息の合ったところを期待しています。ピアノ人口が少なくなっているそうですが、今回のリサイタルで興味を持ってもらえるといいですね。

(広報事業委員 奥 真也)

先取りインタビュー

舞太鼓あすか組

来る3月16日(日)、伊賀市文化会館において「和太鼓フェスティバル打伊賀宴」が開催されます。国内外で演奏を行い喝采を受けている和太鼓集団「舞太鼓あすか組」に公演に先立ちお話を伺いました。

Q. 主宰者の飛鳥大五郎さんは16歳より12年間家元で日本舞踊を習得され独立、その後和太鼓に取り組み「舞太鼓あすか組」を創設されましたが、舞踊と和太鼓の組み合わせの魅力を教えてください。

A. 和太鼓の中に、日本舞踊の所作を取り入れた画期的で斬新な奏法。力強く、しかも美しいフォルムが特徴です。

Q. 2012年から行われている国内ツアー「咆哮する大地〜命の四季〜」の中で日本人力を呼び覚ましたいとありますが、日本に対する特別な思いをお話してください。

A. 過去の歴史が実証しているように、日本人は真面目で勤勉、どんな状況にも負けない忍耐強さや思いやりがある。今大変な時代だからこそ、そのようなDNAを呼び覚ます演奏をしたいと考えます。

Q. 今まで全国各地で和太鼓グループを多数育成されています。今回の公演でも飛鳥大五郎さんの指導を受けた団体が共演されます。忙しい公演の合い間に地道な活動を行われている意義をお聞かせください。

A. どのような素晴らしい文化であれ芸術であれ、それ自体ではつながって行かない。人間が伝えることで、芸術も文化も伝統となって輝く、その為の微力な作業です。

Q. 公演を楽しみにしている伊賀の人たちへのメッセージをお願いいたします。

A. 和太鼓が発する音圧とそのエネルギー、圧倒的な力強さといのちの叫び。その中に垣間見る、日本の色合いと情緒・・・明日へのエネルギーをチャージし、「日本っていいな」という感慨にひたって下さい。

ありがとうございました。楽しみにお待ちしております。

(広報事業委員 森 正美)





一筆啓上
ふるさとへ

「江戸前天ぷらを作り続けたい」

天ぷら福岡（浅草） 福岡雄次 律子



夫婦で天ぷら屋を初めて三年。苗字を店名にしているので九州出身の方が来店されると必ず福岡の

お生まれですかと聞かれ、お互いの故郷の話で盛り上がりまします。主人がこの道に入ったのは和菓子職人だった父親の背中を見ていたこともあります。伊賀の食べ物が美味しかった事も影響しているようです。私達の子供の頃は、何もかも手作りで漬物も何種類も作っていました。今でも思い出すのは子供の頃に大きな樽で味噌を作っていた事です。春は筍、山路の佃煮など、秋には新米で松茸ご飯。冬はこたつの中で甘酒を暖めていました。四季折々の旬の食材を使い昔ながらの方法で作った食事のお陰で、大きくなり健康も守られていた

事を本当に有難く恵まれていたと思います。

核家族化の進んだ多忙な現代に昔と同じようにやるのは無理ですが、小豆からあんを作り蓬を摘んでペッタンペッタンと家族総出で作っていた故郷の暮らしを懐かしく感じたのは結婚してニューヨークで生活したからです。永らく向こうにいて帰国したのが5年前。国際観光都市浅草に店を出したのは、世界中の人達に江戸前の天ぷらの美味しさを伝えたい一念からです。連日外国人の方がお見えになり、これが本物の天ぷらかと喜んで下さる時、やって良かったと感じます。6月には天ぷらを召し上がったブラジルのお客様に頼まれ、彼のオープンするマイアミのお店へ天ぷらの指導に行く予定です。

うちの店では伊賀牛をN.Y.スタイルのサラダでお出ししていますが、伊賀牛ってこんなに柔らかくて美味しいんだというのがお客様の反応で、これからももっとアピールして行こうと考えています。オープンして半年ほどでテレビ東京の取材も受け、スタジオまで作りにも行きました。私達の故郷、伊賀は、自然の恵み溢れるスローフードやのどかな里山の風景、冬の満点の星空など心癒される場所なのです。

夢ing

「ふる里の民踊を受け継いで」

かすよ
正調伊賀上野小唄保存会 福北万代

正調伊賀上野小唄との出会いは、今から10年ほど前、私と同年で舞踊家であり保存会代表の長家陽子師匠に声をかけていただき踊り始めたのが、保存会に入るきっかけとなりました。それまで踊りと言えば盆踊りくらいで縁のなかった私は、どうなることかと不安でしたが、何とか今まで続けられたのは師匠の叱咤激励と仲間の皆さんのお陰です。

4年前の平成22年に、ふる里民踊全国普及曲として伊賀市教育委員会から推薦され、47都道府県で10選の中のひとつに三重県では9年振りに正調伊賀上野小唄が選ばれました。2月に東京でビデオ撮影をし、6月に熱海で第50回全国民踊指導者講習会が開かれ、現地指導者として参加させていただき、約900人の前で踊りつづけた緊張の三日間でした。が、全国に発信できた事が何よりの喜びと力になりました。

上野の名所名物が織り込まれたこのすばらしい正調伊賀上野小唄をより多くの方々に口ずさんでいただき、特に教育現場で若い世代の人たちに受け継がれていくことを強く願っています。



伊賀のええもん見つけた



上野徳居町に伊賀市社会事業協会が運営をする「曙保育園」があります。昭和6年に開園したこの保育園は80年以上の歴史を持ち、平成12年にこの場所に移転されました。

以前、製糸工場として使用されていた頃は、正面には長屋門、西側には石柱が立つ門がありました。その奥には母屋が見え、脇には蔵や作業場が並ぶ威風堂々とした大きなお屋敷でした。

長らく空き家だったこの屋敷が、改築後に保育園として生まれ変わりました。長屋門は保育園の正門として残され、多くの園児と保護者が行き交う姿が見られます。又、石柱の門

曙 保育園

は「学童保育キッズうえの」の入り口となり、その先の蔵や作業場が木材をふんだんに使われた部屋へと改装されました。天窓が造られた屋根からは明るい陽射しが入り込み、賑やかな声が響いています。

この町には秋の天神祭りの鬼行列があることから、保育園の一角に鬼蔵が建設されています。縁があって保育園と鬼蔵が併設されているのは、蔵に住む鬼が子ども達を悪者から守る為なのかも？ それでもやはり鬼は怖いものです。祭り当日は子ども達の叫び声と泣き声、走り回る足音でホラ貝や太鼓の音が聞こえないほどです。

景観に配慮された保育園は、リっぱな建物だけでなく地域との連携も積極的に行われています。毎年、職員さんが鬼行列にも出演したり、園の事業に自治会や老人会等にも参加を呼び掛けたりと良好な関係を築いています。

中心市街地には高齢化や過疎化、空家・空店舗の増加とたくさんの課題がありますが、ここは子ども達の笑い声や歌が聞こえる町に生まれ変わっています。保育園の持つ力は町を再生すると言っても過言ではありません。これからも、たくさんの笑顔が見られる曙保育園であることを願っています。

(広報事業委員 辻村勝則)

こだわり人生乾杯

「傘寿にして津軽三味線に挑戦」

伊賀市在住 もり むねひろ 森 宗博

若い頃から、趣味はと問われれば、「無趣味が趣味」と答えていた私でしたが、銀行在職中地元上野で勤務していた頃、小唄好きの某支店長の勧めで半ば強制的に習わされ、はじめはいやいや付き合っているうち、次第に興味が湧いてきたものの、当初大勢いた仲間も転勤等で減少の一途を辿り、最後まで残った私が一応名前を戴くことが出来ました。ただ、異動の激しい職場であっただけに、結局私自身も遠方への転勤で続けられなくなり、あれから四十年近く、今は昔の思いでとなっているだけで、唄はすっかり返上してしまっています。

小唄を習っていた頃、師匠から同時に三味線も、と勧められながら、やらず終いでしたが、折しも一昨年「ぶんと」のワークショップで、邦楽体験「津軽三味線に挑戦」の募集があり、軽い気持ちで応募したものの、全くの初心者が数回の練習のみで発表会に臨む不安一杯の中、曲りなりにも何とかあやま文化センターの舞台を汚させて頂きました。それを機に折角のご縁だからと、10名程の仲間が鈴鹿から師匠を招聘して、月2回の稽古を続けることになりました。

今回、今更ながら津軽三味線を始めたのは、あの頃から魅せられていた伴奏の三味の音の響きが、以来耳から離れずにいたからでした。しかし、小唄三味線は細棒で爪弾き、片や、打楽器的要素の強い津軽三味線（太棹）は、かなりインパクトがあり音色も違うものの、今では力強い太棹のほうに魅力を感じています。

余談ですが、私どもが初等教育を受けた時代は、丁度学制改革の節目に当り「小学校」すら行っていない？状況で、ましてや音楽などまともな授業も受けられず、現在のように色々な塾があつて好きなことが学べる環境にもなく、音楽の基礎を習得する機会にも恵まれず、音感の鈍いままの大人になってしまっています。

加えて私も既に傘寿、心身ともに衰えが感じられる齢となった昨今、挑戦の気概はあってもそう簡単に上達できる筈ありませんが、津軽三味線はテンポが速く、指づかいが難しく複雑なだけに、勝手なこだわりで所謂ボケ防止に役立つものと信じ、師匠や若い仲間の皆さんに極力迷惑をかけないよう、何時まで続くかは大いに疑問ながら、終末(?)の楽しみとして続けられればと思っています。



あやま文化センターでの初めての舞台発表

芭蕉さん歳時記

昨年ぶんと第87号からスタートした「芭蕉さん歳時記」。伊賀市内にある芭蕉さんの句碑の中から季節の俳句を取り上げ、担当者が感性の赴くまま自由に思いを巡らすという企画。とうとうまったくの門外漢の私に担当がまわってきました。

芭蕉さんの俳句というと、「夏草や兵どもが夢の跡」など、学生時代にいくつかの作品に触れましたが、子どもながらも、その情景はもちろんのこと、音、香り、そして、熱や風までも感じられ、身震いをした覚えがあります。

自由に思いを巡らすとはいうものの、芭蕉さんの生誕地で浅はかな思いを披露するのもあまりにも恥ずかしいので、今の自分にふさわしい句がないか探してみることにしました。

初さくら 折しもけふはよき日なり

これは上野東町の上野天神宮に碑がある俳句で、元禄元年(1688年)芭蕉45歳の作。句の意味は、「境内の初桜がちらほらと咲き初めた日、幸い好天に恵まれたことであるよ。折しも

今日は月次会の発足にふさわしい誠に良い日だ。」とのこと。伊賀の門人たちが薬師寺において月次句会を催すことになり、『笈の小文』の旅で帰郷していた芭蕉が、その最初の連句会に招かれ、会の前途を祝った句で、「初桜」に初会を祝う心をほのめかし、一座への挨拶としたということです。なお、上野天神宮は、芭蕉さんが29歳のとき、俳諧師として世に立つ決意を表し、初めて編んだ俳諧発句合『貝おほい』を奉納し、文運を祈願した地でもあります。(句碑の横にある解説より)

何か思い立ってスタートした時に、ちょうど縁起の良いものに会おうと、何だかその思いが叶うような、順調に事が運んでいくようなうれしい気持ちになりますが、俳聖とまで呼ばれる芭蕉さんでも、初桜に縁起良さを結び付けたりするのかと、何だかとても親しみを感じました。

「初桜 こころ新たに 花見酒」今年は芭蕉生誕370周年の記念の年。今年の春は、何か一つ新しいことに挑戦することを決意して、初桜の下で祈願成就の一献をいただきたいと思います。

(広報事業委員 重藤憲史)



初さくら句碑

優子の



多情
多感

No.53

「雪国の小さな町」

北泉 優子

下積み時代というのだろうか。NHKを退職して、処女作『忍ぶ糸』を世に出すまでの5年余り、テレビドラマの企画書やプロットを書き、おこづかいを稼いでいた企画が通っても、脚本家は別の人で、わたしの名前は、どこにも出ない。けれど、自分の考えたストーリーが、そのまま映像化されて放映されるのは、すごく楽しく嬉しいことであつた。

「今に見ていなさいよ。こうして通用しているのだから、いつかきつとわたしの名前もタイトルになることがあるわ」こんな惜しき半分は、心の奥の奥にあったけれど……。その頃、そう二十代後半のことである。もう五十年近く前になるかしら。TBSの歌番組のプロデューサーに、「十日町の雪まつりに行かないか」と誘われた。と、いうことは、歌番組の構成をやらせてくれるという意味だ。脚本家が志望だが、構成作家から転向した人も沢山居る。まずは、画面に自分の名を出すことだ。そう決めたわたしは、反射的に「はい」と頷いていた。

トンネルを過ぎると、そこは雪国だった。川端康成先生の名文通り、そこは、まさに白一色の銀世界だ。東京でも伊賀でも雪は降る。しかし、その量というか広さというか、全く違うのだ。

雪国——。けだし名言だった。「雪よ、雪。わあすごい!!」と、列車の窓に顔をくっつけて叫ぶ当方に、同行の男性二人、プロデューサーとディレクターは、あきれ顔で「お前さん、いくつだい? 五才か七才か」と問いかけ顔だった。

新潟県の十日町は、当時、全国で二番目の豪雪地といわれていた。米は勿論だが、織物の町としても名を知られ、毎年、雪まつりには、着物のファッションショーが開催された。

着物ショーは、ヨーロッパの古城を模した雪像の舞台でおこなわれる。古城の舞台を設営するのに、トラック

数十台分の雪と、地元の人々の一ヶ月余の労力が必要だったことだった。札幌の雪まつりとは規模がちがうが、雪の中の小さな町は、いつとき、きらめきと華やきに包まれるのである。丘の上にある舞台までは、道なりに、ローンクが灯り、夜道でもこわくない。

夜の公演だから、古城はライトアップされている。今日みたいに七色のきらびやかさはなかったが、ささやかで、慎ましく、如何にも、雪国の小さな町のまつりに似合ってしまった。それでも長岡あたりから来る見物客もあり、大いに盛り上がり、賑わいのひと夜なのだった。

わたし達が観た公演で、ちょっとしたハプニングが起きた。ショーの出演者は全員土地の若い娘さんたちで、むろん素人だ。振袖姿の彼女達は全部で三十余名ばかり。練習の成果か、よく揃っていて、みな雪国の女らしく美人だった。

そのファイナーレ。全員が並んだところで、センターの一人が、どうしたのか、足を滑らせて、ころびかけたのだ。隣の娘の気転で、腕をつかまれ、事なきを得、ショーは何事もなかったように大成功で終わった。

事なきを得なかったのは、当方だった。このごくささいな出来事で、歌番組の仕事がバアになったのだ。じつは、古城の舞台で、美空ひばりのワンマンショーを、ナマで放映する計画で、構成も新鮮な感覚を持つ新人ということとで私が候補になっていたのだ。十日町からのナマ中継本番中、ひばりが転んだら、俺のクビがとぶだけではすまない。そう思ったプロデューサーの英断で、スタジオ出演に差し替えられた。後日といっても、ひと昔のあただが、ひばりさんは「忍ぶ糸」や「忍ぶ橋」を愛読してくださっていて、「わたし、この作家好きだから、舞台化したいわねえ」と呟いていたと、故旭輝子さん(神田正輝の母)から聞いた。あの夜、女の子が転びかけなければ、わたしの運命も変わっていたのかもしれないなあ。

そう想像すると、人生って、ほんと不思議なものだと感じる。だから、老後のいまでも、毎日が楽しいのかも……。

十日町——。雪の中の小さな織物の町は、なにがしかのほろ苦さを持って、いまなお忘れられない地のひとつである。

(作家・市内在住)

伊賀上野城下町のおひなさん共催事業

手づくりアートのひな人形展



匠の技が創るART空間

伊賀の歴史的な施設、栄楽館、武家屋敷入交家住宅の「和の空間」を、様々な「手づくりアートのひな人形」達が、艶やかに、美しく彩ります。

【期 間】 2月15日(土)～3月3日(月)
9:00～16:00まで
【場 所】 栄楽館・武家屋敷入交家住宅
【入 場 料】 無料(入交家住宅は、期間中限定)
【出展数等】 約40作家の作品、計400点
【お問合せ】 ☎22-0511



伊賀上野城下町のおひなさん共催事業

十二単&束帯による
着装披露&神前結婚式

愛し合う二人が、古の装束に身を包み、神前にて、今、結ばれる。二人がまとう「十二単」、「束帯」の着付の様子を史跡旧崇廣堂の講堂で公開披露一。

【日 時】 2月22日(土) 開場 9:30 開演 10:00
【場 所】 史跡旧崇廣堂 講堂
【入 場 料】 無料
【着付協力】 全日本和装コンサルタント協会認定 蒔着付作法学院
※着装披露後、輿にて本町通り～菅原神社へ(神前結婚式)

ぶんと子ども達の音楽活性化・読書推進事業

音遊び手遊び歌遊び



子どもから大人まで楽しめるリトミックや手遊び、歌遊び、パネルシアターに、絵本の読み聞かせ！キラキラと輝く星のような…みんなの笑顔がいっぱい！

【日 時】 3月23日(日) 13:30～
【場 所】 ハイトピア伊賀5階 伊賀市上野丸之内500
【定 員】 100名(参加無料、要申込)
※定員になり次第、申込受付終了。
【対 象】 3歳から小学4年生まで(ただし、2年生以下保護者同伴)
【講 師】 音感教室 Twinkle (ティンクル)
【お 申 込】 3月9日(日) 10:00から☎22-0511で申込受付

参加無料

全国訪問 本とあそぼう
おはなし隊 in あやま文化センター

参加無料

全国をまわる「おはなし隊」が伊賀に登場！こども達が本に親しむきっかけや、本を通じお子様とふれあう機会づくりにご活用ください。

【日 時】 3月15日(土)
15:00～16:00
【場 所】 あやま文化センター
【対 象】 2歳から小学3年生まで
【内 容】 キャラバンカー見学、本の読み聞かせ
【参 加 料】 無料(お菓子のおみやげ付)
【定 員】 70名(定員になり次第締切)
【受 付】 2月23日(日) 10:00から☎22-0511にて受付



岩倉峡公園キャンプ場

桜まつり

屋も夜も桜を満喫

【日 時】 4月11日(金)～13日(日)
11:00～20:00(夜間ライトアップ)
【場 所】 岩倉峡公園キャンプ場 伊賀市岩倉
■お花見バーベキュー(要申込)
11日(金)・12日(土)は、バーベキュードームの利用料金無料！
★使用時間 1回4時間以内(11:00～21:00)
★貸付用具代は別途有料となります。
★申込は、岩倉峡公園キャンプ場☎24-0146へお申してください。
■Night ドリンクサービス
温かい飲み物をサービス！(18:00～)

お楽しみ
お花見DAY 4/13 SUN

『うまいもん』ブース

★とん汁 ★フランクフルト
★カラアゲ ★ポテトほか

※食べ物は有料 ※売り切れ次第終了
11:00～20:30



お花見LIVE 4/13 SUN

和太鼓×津軽三味線の響き

1st 12:30 2nd 14:30

【出 演】 的場 凜(和太鼓)
加賀 丈子(津軽三味線)



～上野運動公園野球場一般開放～

今年も、やります！



集まれ！グラウンドゴルフ仲間！

【日 時】 4月～11月 毎月木曜日2回(11月は1回のみ)
4月10日・24日 5月15日・29日 6月12日・26日
7月10日・24日 8月21日・28日 9月11日・25日
10月9日・30日 11月6日 ※雨天時は中止
9:30～12:00

Wチャンス

★皆 勤 賞★ ※開催日(雨天中止の場合は除く)全て出席された方に皆勤賞をプレゼントします！初回のみ、出席カードを配布しますので、ぜひご参加ください！

★ラッキー賞★ ※毎回抽選でラッキー賞が当たります！どんな賞品が当たるかお楽しみに！

【場 所】 上野運動公園野球場芝生外野 伊賀市小田町1470番地
【料 金】 1人 100円(市外・市内関係なし)
【定 員】 先着200名程度
【受 付】 当日現地にて8:50より受付



参加者募集

気軽に楽しく！



古代遺跡で！グラウンドゴルフ！

【日 時】 3月27日(木) ※小雨決行
受付 13:00～ 開始 13:30～
【会 場】 城之越遺跡 伊賀市比土4724番地
【料 金】 参加費 1人 200円
【定 員】 80人
※定員がいっぱいになり次第締切。
【申込受付】 3月15日(日)9:00から
☎22-0511にて申込受付



お問合せ：(公財)伊賀市文化都市協会本部事務局 電話 22-0511

元気ママ・ママ＆ベビーの3B体操

【日 時】 毎週火曜日 10回コース
第1期 4月8日～6月24日 ※4/29、5/6休講
☆元気ママクラス…10:00～11:00
☆ママ＆ベビークラス…11:00～12:00

【場 所】 三重県立ゆめドームうえの

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 ☆元気ママクラス…1歳以上の未就園(所)児とその保護者
☆ママ＆ベビークラス…生後3か月～1歳未満の乳児とその保護者

【定 員】 各15組

【講 師】 (社)日本3B体操協会公認インストラクター

【申込受付】 2月19日(水) 10:00から ☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、1組とします。

骨盤矯正ストレッチ

NEW

～正しい姿勢を見つけましょう～
骨を整え、インナーマッスルをほぐしましょう!

【日 時】 毎週木曜日 6回コース
第1期 4月3日～5月15日 ※5/1休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場 所】 伊賀市文化会館 リハーサル室

【料 金】 3,000円

【定 員】 25名
※定員になり次第締切

【講 師】 辻 明子先生

【申込受付】 2月23日(日) 13:00から ☎22-0511にて申込受付



Let's YOGA in 文化会館

リラックス&ダイエット

【日 時】 毎週水曜日 10回コース
第1期 4月2日～6月11日 ※4/30休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場 所】 伊賀市文化会館 リハーサル室

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般

【定 員】 25名

【講 師】 中 依伊子先生

【申込受付】 2月26日(水) 13:00から ☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、3名様までとします。

場所を
変更しました

Let's YOGA in 武道館

リラックス&ダイエット

【日 時】 毎週金曜日 10回コース
第1期 4月4日～6月13日 ※5/2休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場 所】 伊賀上野武道館

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般

【定 員】 15名

【講 師】 錦 真奈美先生

【申込受付】 2月21日(金) 13:00から
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、2名様までとします。



太極拳教室

ー カラダの芯からリラックス ー

【日 時】 毎週土曜日 10回講座
第1期 4月5日～6月14日 ※5/3休講
受付 9:30～ / 時間 10:00～11:30

【場 所】 いがまちスポーツセンター

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般(高校生以上)

【定 員】 20名
※先着順。定員になり次第締切。

【講 師】 横山 公則先生

【申込受付】 2月23日(日) 10:00から
☎45-9125にて申込受付



ZUMBA

ラテン系フィットネス

【日 時】 毎週木曜日 10回コース
第1期 4月3日～6月12日 ※5/1休講
受付 19:00～ / 時間 19:30～20:30

【場 所】 上野運動公園体育館 2階

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般

【定 員】 30名

【講 師】 川南 林恵先生

【申込受付】 2月23日(日) 11:30から
☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、3名様までとします。



エアロビクス

音楽に合わせてみんなで楽しくエクササイズ!

【日 時】 毎週月曜日 10回コース
第1期 4月7日～6月16日 ※5/5休講
受付 19:30～ / 時間 19:45～20:45

【場 所】 阿山B&G海洋センター

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般

【定 員】 35名

【講 師】 山下 華子先生

【申込受付】 2月23日(日) 14:00から
☎22-0511にて申込受付

時間を
変更しました



癒しのマットサイエンス

ヨガとピラティスの融合

【日 時】 毎週月曜日 10回コース
第1期 4月7日～6月16日 ※5/5休講
受付 10:30～ / 時間 11:00～12:00

【場 所】 上野運動公園体育館 2階

【料 金】 5,000円

【対 象 者】 一般

【定 員】 20名

【講 師】 阿部 和矢先生

【申込受付】 2月23日(日) 11:00から ☎22-0511にて申込受付
※1回のお電話につき、2名様までとします。

曜日と時間を
変更しました



ホール・ドーム **これから情報****ゆめドームうえの** 伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
3/1(土) 9:00~	小学生ソフトバレーボール大会	第一	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎090-8738-5205(生中)
3/9(日) 9:00~	伊賀市わくわく子どもフェスタ	第一	上野児童福祉会連合会・伊賀上野ライオンズクラブ ☎23-6936(伊賀上野ライオンズクラブ)
3/15(土) 9:00~	三重県中学校剣道一年生大会	第一	三重県学校剣道連盟 ☎0596-58-3057(玉城中)
3/21(金・祝) 9:00~	伊賀市小学生ソフトバレーボール六送交流会	第一	伊賀市小学生バレーボール連絡協議会 ☎090-8738-5205(生中)

岩倉峡公園キャンプ場“3月15日”オープン!!

岩倉峡公園キャンプ場が3月15日よりオープンします。

開設時間、受付等は次のとおりとなっていますので、春休み期間中やゴールデンウィークのご利用を計画されている方はお早めに受付を済ませてください。

◇開設期間等

1. 開設期間 3/15(土)~12/15(月)
2. 開設時間

(1)4/20(日)~11/30(日)の間は終日

○宿泊キャンプの利用時間

利用する日の午後1時から、翌日の午前10時まで

○デイキャンプの利用時間 午前10時から午後4時まで
※12/16~3/14の間は、キャンプ場は休園します。

(2)3/15(土)~4/19(土)と、12/1(月)~12/15(月)の間は、午前9時から午後4時まで

◇受付期間等

1. 受付期間
使用しようとする日の、60日前から5日前までの間に受付できます。
2. 受付時間
開設期間中は、毎日、午前9時から午後4時まで
開設期間外は、休日、土・日曜日を除く日の午前9時から午後5時まで。

伊賀市文化会館 伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
3/1(土) 15:00~	心ゆさぶるハーブと語り	一般 500円	公助伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/9(日) 10:00~ 13:30~ 16:00~	ヤマハ音楽教育システムMUSIC FESTIVAL 2014 & Electone Stage アンサンブルコンテスト部門	無料	㈱さわ楽器 ☎23-8080(澤)
3/12(水) 10:00~	第58回新入学を祝うよい子のつどい	無料	中田新聞社 ☎052-221-0671(普及事業課 館長・井澤)
3/16(日) 14:00~	和太鼓フェスティバル 打伊響奏2014 YAYOI	一般 3,000円	公助伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)
3/23(日) 14:00~	伊賀白鳳高等学校吹奏楽部 第3回定期演奏会	500円	伊賀白鳳高校吹奏楽部 ☎21-2110(砂原)
3/27(木) 13:00~	三重県年金受給者協会 会員のつどい	無料	三重県年金受給者協会支部 伊賀支部 ☎21-6032(中島)
4/6(日) 13:00~	第34回新人演奏会inいが	一般 1,000円 ※学生は当日学生証提示で半額減	公助伊賀市文化都市協会 ☎24-7015(伊賀市文化会館)

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
2/15(土) 14:00~	青山こどもミュージカル くるみ割り人形とクララの物語	一般 1,000円	公助伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
2/22(土) 13:30~	みんな集まれ青山の子ども	無料	青山地区民生委員 児童委員協議会 ☎54-1031(森岡世為子)
2/23(日) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	公助伊賀市文化都市協会 ☎52-1109(青山ホール)
3/9(日) 14:00~	新世紀コンサート2013 Fleur(奥出落子・横谷江美)ピアノデュオリサイタル ~ピアノで綴る音の世界~	一般 1,000円	公助伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
3/21(金・祝) 14:00~	Quadrifoglio Ist しあわせいっぱいコンサート ~4つのハートのハーモニー~	1,000円	Quadrifoglio ☎37-0435(藤森唯史)
3/23(日) 13:30~	春だ! わっしょい!! 和太鼓コンサート	無料	青山太鼓保存会 ☎52-0516(中華料理 北京)
3/30(日) 14:00~	すてきなコンサート いま、甦る...	1,000円	上野合唱団 ☎45-2824(土屋正孝)
4/12(土) 14:00~	桂 富佐ピアノコンサート ~富佐とすてきな仲間たち~	1,000円	桂 富佐 ☎090-8954-6858(桂)
4/13(日) 12:30~	第28回 リピートピアノ発表会	無料	森下久恵 ☎24-1541(森下久恵)

ふるさと会館いが

伊賀市下柘植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
2/8(土) 13:00~	伊賀市障がい者福祉連盟 福祉大会	小ホール	無料	伊賀市障がい者福祉連盟事務局 ☎21-5866(山口)
2/16(日) 14:00~	Full.Come.Live Vol.39	小ホール	無料	公助伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
3/2(日) 13:30~	第14回 能楽鑑賞会	大ホール	一般 1,000円 高校生以下500円	公助伊賀市文化都市協会 ☎22-0511
3/8(土) 13:30~	やまなみ文化協会会員 人権研修	小ホール	無料	やまなみ文化協会 ☎45-9122(いけまち公民館中)

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
3/2(日) 10:00~	あやま芸能まつり	無料	岡山公民館あやま芸能まつり実行委員会 ☎43-0154(山本)
3/8(土) 10:00~	タッチ・ザ・スタインウェイ	参加費 500円 (要予約)	公助伊賀市文化都市協会 ☎45-9125(ふるさと会館いが)
3/29(土) 18:00~	LADY BLUES NIGHT in IGA ブルース伊賀の乱 レディース編	一般 500円	公助伊賀市文化都市協会 ☎22-0511

伊賀びと川柳

また一つ歳暮で知った伊賀の品
井ノ上指男

★年重ね人情しみる伊賀ぐらし
上田公美彦

上京し伊賀弁で話せる姪に逢い
田中 鏡子

ハクシヨン忍者も風邪をひきました
谷本 直美

銀座通りあらこらのぞく忍者の顔
東平 幸子

基盤出し孫に教える伊賀の街
伊賀のひでる

次号「93号」の締切は3月15日(土)です。投稿いただいた方の中から★印の方に「N響プラスアンサンブル」ペーパーチケットをプレゼントします。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハガキ・FAX・Eメールで下記までお願いします。

●編集部だより●

また廻ってくるあの日、3・11。黒い波が押し寄せ逃げ惑う車をただ「早く! 早く!」と、画面に向かって叫んでいるしかなかったあの日。闇をまとった静寂に響く慟哭。傷つきボッキリ折れた心には、何を見ても涙が溢れた。繰り返し流されたテレビコマーシャルに、考える事を止めてしまったかのような日本があった。

その中で秩序と礼節を保ち、人間の尊厳を失う事なく行動した人々に、世界から届いた称賛の声・声。この時ほど日本人で良かったと思った事はなかった。そして世界が「PRAY FOR JAPAN」と祈ってくれた。

あれから3年。いや、被災者にとってまだ3年。家族を失った悲しみは癒される事なく、放射能汚染のゴールは見えていない。春はまだまだ足音さえ聞こえていないのだ。何度廻っても……。 (広報事業委員 南出ゆかり)

お問い合わせ

(公助)伊賀市文化都市協会

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
Eメール samazama@bunto.com・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com> ・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/furukan/>